

# 整備中の歴史遺産を活用した地域活性化の総合的な取組

1989～第1期整備～完了2001)

2038～第2期整備～完了2043)

2001～第2期整備～未完2016)

2018～民間活力導入～2037→20年間)

第1期整備着手後12年で→完了  
第2期整備着手後16年が→未完

整備課題

- 財政的課題
- 整備が長期に及んでいる
- ポテンシャルの高い市街地に広範囲の未利用地として存在

地区のポテンシャル

- 広域幹線道路沿い
- 約3万平米の広大な用地
- 関空と都心のつなぐゾーン
- 外国人観光客の大幅な増加

歴史遺産の価値

- 我が国屈指の弥生時代の環濠集落
- 大型掘立柱建物

一定期間

広大な敷地を有効に  
活用し、史跡遺産の啓  
発につなぐ

歴史遺産の活用

- 商業、農林業、公園、青少年、文化  
など他部署と連携したイベント開催

現況活用エリア  
約30,000㎡

施設整備エリア  
約30,000㎡

施設整備  
エリア  
約10,000㎡

特別区域  
(115,000㎡)

民間活力の成果を活かす

- 民間アピール効果を活かす
- 知名度を内外にアピール(古来文化)
- 財源の確保

民間活力

- 歴史遺産の適正な保存
- インバウンド、観光振興など民間活力による地域活性化
- 民間の集客施設の連携協力による場所の認知